

尿路結石症治療について

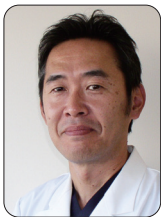
尿路結石症は近年増加しており、現在では男性で7人に1人、女性で15人に1人が一生に一度は尿路結石症に罹患すると言われています。尿路結石が腎臓にあれば腎結石、尿管にあれば尿管結石という呼び方になります。

治療方法 5mm以下の結石の多くは投薬で排石が期待できますが、10mmをこえる結石では自排石は困難です。多くの場合で破碎手術が必要となります。

破碎手術の場合

破碎手術には、
経尿道的結石破碎術(TUL)
経皮的腎結石破碎術(PNL)
体外衝撃波結石破碎術(ESWL)
があります。

どの治療を選択するかは結石治療のガイドラインに沿って選択することとなりますが、近年は内視鏡技術の進歩に伴いTULやPNLの適応が広がり、かなりの結石がTULやPNLで解決可能となってきています。



泌尿器科部長
大村 稔

東京医科歯科大学1996年卒業

TUL

尿道から内視鏡を用いた破碎手術です。手術終了時点で結石の状態が正確に評価でき、大きい結石でなければ単回で解決可能です。ESWLより破碎能力は優れています。

PNL

腰背部から腎臓に内視鏡を挿入し破碎する手術です。破碎能力はESWLより優れ、大きな腎結石の破碎が適応となります。

ESWL

体外で発生させた衝撃波を結石にあてて破碎を目指す治療法です。複数回の治療を要することもあり、破碎できずにTULやPNLに移行するという結果になることもあります。

当院では、2013年4月から積極的にTULとPNLを開始しています。
(ESWLは当院では現在施行していません)

ご予約・お問合せはこちらへ

電話予約

04-7123-5901

月曜日～土曜日 9:00～16:00

ただし、祝日および病院指定休診日を除く

kikkoman

キッコマン総合病院

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

電話04(7123)5911(代) FAX 04(7123)5920

<http://hospital.kikkoman.co.jp/>